

## 第6回若年者ものづくり競技大会に参加して

京都職業能力開発短期大学校  
住居環境科 2年 二谷 翔吾

第6回若年者ものづくり競技会を終えて、滅多にできない貴重な体験をしてきたと思っています。結果は残念ながら入賞には届きませんでしたが、これが自分の実力ですし精一杯頑張った結果なので悔いはありません。それに、他の選手の競技に挑む姿を見て、とてもいい勉強になりましたし、刺激になりました。その成果を2級技能士取得に向けた活力に変えて日々精進していきたいと思います。

今回、東日本大震災という大災害の後の大会でした。「被災した東北の選手たちはどんな気持ちで競技に参加するのだろう」と参加者名簿を見て思っていました。いざ会場に入ってみると「頑張ろう 東北!」と書かれた横断幕を掲げて競技をしている学校があり、なにかこっちが逆に励まされたというか背中を押された気持ちになりました。そのような気持ちが持てたのも大会に参加したからだだと思います。

最後に練習に期間中もずっと付き添って指導して下さった丸山詠子先生や、建築大工の技能を学び競技会に参加するきっかけを作ってくれた中須一夫先生(現在退職)、最後までサポートして下さった関係者の方々本当にありがとうございました。この競技会で得た経験をこれからの学校生活、社会人になってからも生かしていきたいと思っています。



競技会場 (神戸国際展示会場) 8/3



競技に取り組む二谷君の姿 8/3

### 【指導教官のコメント】

ものづくり競技大会は全国の工業高校や職業訓練施設で学ぶ企業等に就業していない20歳以下の若者が競う大会です。さまざまな職種があるなか、当校では昨年から続けて、建築大工の部に参加しています。

今回はじめて、私も競技参加の学生と共に引率者として同行しました。大会では、選手の二谷君が真剣に課題の制作に取り組んでくれました。結果は残念でしたが、本人が全力を出しきって満足?したそうなのでよかったです。改めて全国のレベルはやっぱり高いと痛感しました。

大会終了後は、短い夏休みを満喫して鋭気を養い、新たな気持ちで、建築大工技能士2級の資格取得にむけ頑張ってもらいたいと思います。

丸山詠子



競技大会での作品モデル (説明用)